

企業等との連携による具体的な取組 キャリア教育への取組

■企業等との連携による取組

授業科目名	保育実習Ⅰ(保育所)	授業時数又は単位数	90時間
実施期間	2年次/5月中旬～5月下旬にかけての10日間		
実習・演習等の目的及び概要	保育の理念、保育所の役割、保育所の社会的責任、保育の質を高める保育、実習の意義、目的、心構え等の知識・技能を身に付け、実習に当たる。保育現場での乳幼児の家庭的な生活実態の現状、保育所の果たす役割、保育士の業務内容等実習経験を通して、具体的に学ぶ。又、観察・参加・部分実習を行い、子どもとの日々の触れ合いの積み重ねによって子ども理解をより一層深めていくことを目的とする。各実習園の指示に基づいて、土曜日保育・早朝保育・延長保育など経験する。		
企業等との連携の基本方針	「保育園指定保育士養成施設の指定及び運営の基本について」に準じた認可保育園・認定子ども園(保育所型・幼保連携型)の中で、本校の教育方針を理解していただき保育士に必要な専門知識の習得だけではなく具体的に保育現場で求められる人材育成に即した実習が体験でき、かつ岡山県保育士養成協議会において登録された保育士としての実践的な実習ができる保育園を選定している。		
企業等との連携内容	実習科目担当の教師が「保育士養成協議会」で出された「保育所実習の手引き」に基づく実習内容を実習前に事前に実習園と確認、調整を行い、実習内容、学生の学修成果指標等について定める。実習期間中に担当教師が実習園を訪問し、学生の実習態度、行動、状況を把握するとともに実習担当者もしくは園長と情報交換等の連携をしながら実習授業運営を行う。実習終了時には、実習園実習担当者及び園長による学生の学修成果の評価と実習日誌をふまえ、担当教員が成績評価、単位認定を行う。		
学修成果の評価方法	学生の学修成果の評価については、実習授業担当者が学生の実習日誌の評価と実習園からの評価票にて評価を行う。実習園と協議の上作成された保育所実習評価票の「評価の着眼点」について実習園が5段階で評価し、日々の実習日誌・指導案、課題への取り組み、自己反省、明日への取り組み、反省会のまとめ、実習を振り返ってのまとめ等の記録を担当教員が評価し、その2つを合わせて総合的に成績評価(4段階)し、単位認定を行う。		
連携する企業等	社会福祉法人 佳日会 若草幼児舎、社会福祉法人 なかよし会 なかよし保育園、社会福祉法人 寿宝会 竜王保育園、社会福祉法人 院庄さくらこども園 院庄さくらこども園、社会福祉法人 倉敷福德会 小谷かなりや第二保育園 全園24施設(保育所)		

■キャリア教育への取組

学科ごとの授業科目の中に実習、ビジネス実務、プレゼンテーション実習、コミュニケーション実習等それぞれの業界で必要なキャリア教育を行っている。(学科のカリキュラム参照)